

# てんぷら油による下腿熱傷 植皮からの脱出

平成25年4月18日てんぷら油により左下腿に熱傷受傷した。某熱傷センターにてワセリンにスピラゾン軟膏、フィブラストスプレーを散布したのちガーゼを当てて処置を続けられた。

5月13日植皮が必要と主治医から話があり、当院へ避難となった。

当院初診日 5/13



ガーゼの跡が生々しい状態であった。

5月30日



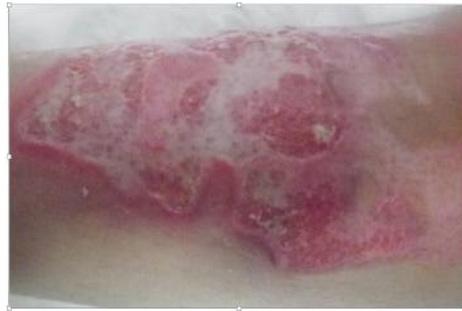
初診時以外で初めての疼痛の訴えあり、辺縁の発赤も認め感染と判断し抗生剤内服した。

7月25日



すっかり色素沈着も薄くなり、瘢痕も和らいできている。

当院受診後2日 5/14



6月13日 (受診後1か月)



上皮化完了。植皮しましょうといわれてから、1か月よく頑張りました。ただし、ここはまだ終われません。母親の気持ちは、もっときれいにだから。それを期待して、当院に通院しているのだから。

10月3日



あと一歩...

5月23日



この頃から、自分で処置するようになり「将来は看護婦さんになりたい」という一言も

6月27日



皮膚が若いため、表皮剥離の状態

6月20日からドレニゾンテープを使用開始した。表皮剥離の状態となり、2週間プロベトのみを使用し皮膚の安定化を待った。

1月6日



弟がけがをしたため、その傷を見せに来院しついでに写真を撮らせていただきました。